

京都市消費者物価指数 令和3年度平均

2020年(=100)基準

令和4年4月22日
京都府企画統計課
電話:075-414-4507

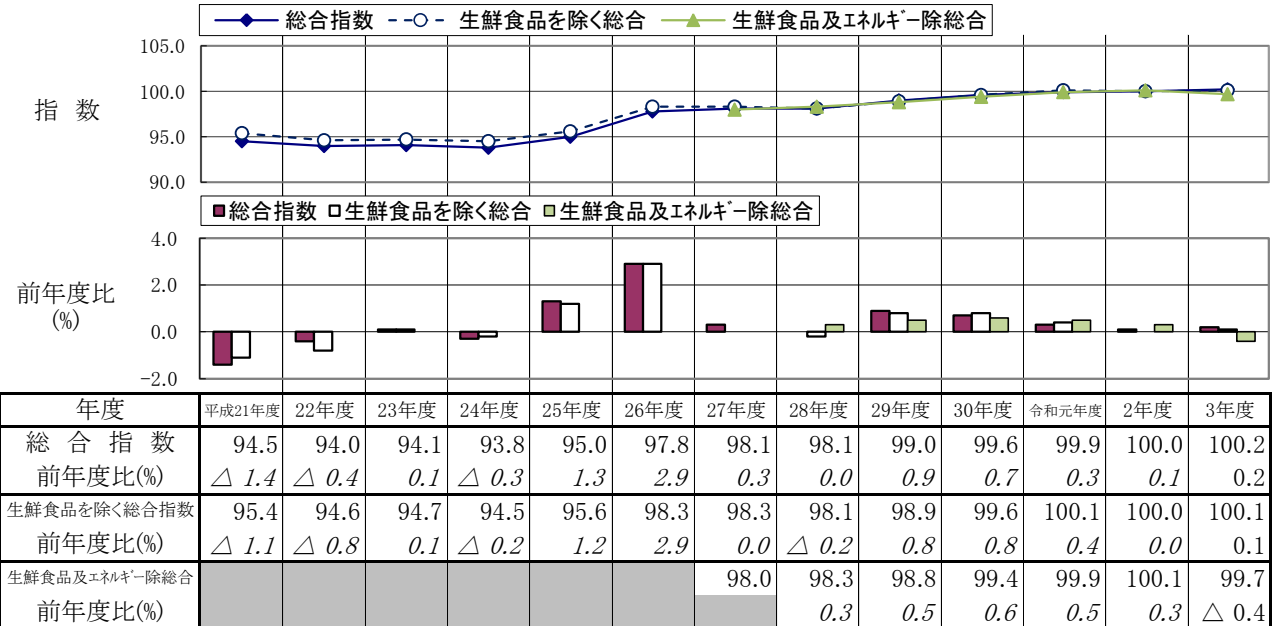
概況

(1) 総合指数は100.2	前年度比は0.2%の上昇
(2) 生鮮食品を除く総合指数は100.1	前年度比は0.1%の上昇
(3) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は99.7	前年度比は0.4%の下落

◎ 前年度との比較(10大費目)

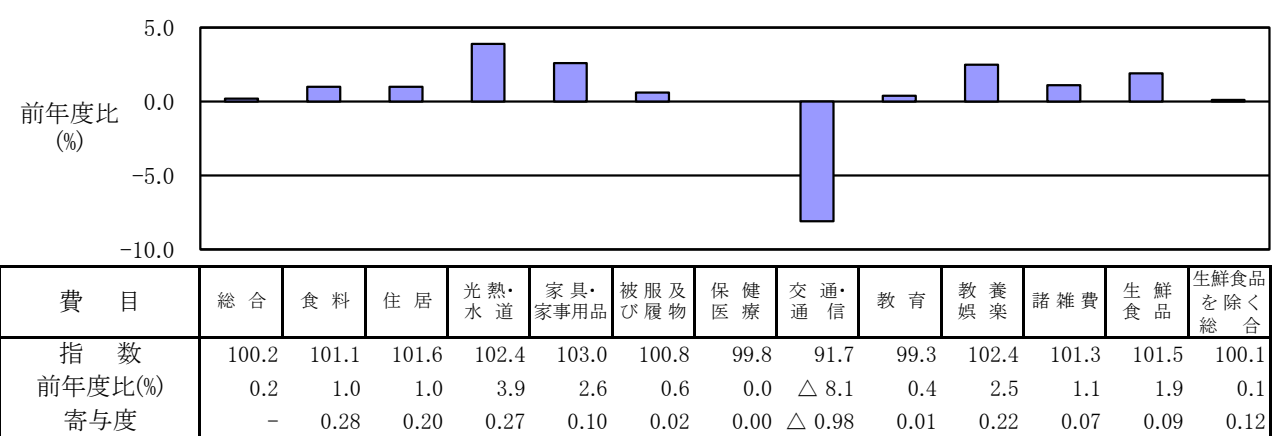
- [上昇] 食料1.0%、光熱・水道3.9%、教養娯楽2.5%、住居1.0%、
家具・家事用品2.6%、諸雑費1.1%、被服及び履物0.6%、教育0.4%
- [下落] 交通・通信△8.1%

◎ 総合指数の推移



費目別

◎ 前年度との比較



注1 この資料は、総務省統計局『小売物価統計調査』の結果に基づき、作成しています。
 2 費目・品目の配列は、寄与度(総合指数の変化率に対する影響度)の大きいものから順になっています。
 3 前年度比は各基準年の公表値とし、2020年基準の指数値による再計算は行っていません。(斜体部分)
 4 平成23年度以降の前年度比は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合があります。

食料	101. 1となり、前年度に比べ1. 0%上昇しました。	
[上昇]	魚介類	5.7% ぶり、いか、まぐろなど
	外食	1.2% 焼肉(外食)、牛丼(外食)、豚カツ定食(外食)など
	菓子類	2.1% ケーキ、だいふく餅、まんじゅうなど
[下落]	生鮮野菜	△2.0% カット野菜、ながいも、キャベツなど
	肉類	△1.0% 牛肉、ソーセージ、豚肉(輸入品)など
住居	101. 6となり、前年度に比べ1. 0%上昇しました。	
[上昇]	設備修繕・維持	8.5% 火災・地震保険料、温水洗浄便座など
	家賃	0.1% 持家の帰属家賃など
光熱・水道	102. 4となり、前年度に比べ3. 9%上昇しました。	
[上昇]	電気代	4.7% 電気代
	ガス代	5.4% 都市ガス代など
	他の光熱	16.0% 灯油
家具・家事用品	103. 0となり、前年度に比べ2. 6%上昇しました。	
[上昇]	家庭用耐久財	3.1% ルームエアコン、電子レンジ、温風ヒーターなど
	家事用消耗品	2.9% ポリ袋、柔軟仕上剤、洗濯用洗剤など
	室内装備品	13.3% 照明器具など
[下落]	寝具類	△3.8% 敷きパッド、布団など
被服及び履物	100. 8となり、前年度に比べ0. 6%上昇しました。	
[上昇]	洋服	2.2% 男子用上着、スカート(春夏物)など
[下落]	他の被服	△3.4% 帽子など
保健医療	99. 8となり、前年度と変わりませんでした。	
[上昇]	保健医療用品・器具	1.1% 血圧計など
[下落]	保健医療サービス	△0.6% 診療代
交通・通信	91. 7となり、前年度に比べ8. 1%下落しました。	
[上昇]	自動車等関係費	2.8% ガソリン、ドライブレコーダーなど
[下落]	通信	△28.8% 通信料(携帯電話)、携帯電話機
教育	99. 3となり、前年度に比べ0. 4%上昇しました。	
[上昇]	授業料等	0.5% 大学授業料(私立)など
教養娯楽	102. 4となり、前年度に比べ2. 5%上昇しました。	
[上昇]	教養娯楽サービス	3.5% 宿泊料、講習料(ダンス)、講習料(書道)など
	書籍・他の印刷物	3.7% 新聞代など
	教養娯楽用品	0.4% 鉢植え、園芸用肥料、競技用靴など
諸雑費	101. 3となり、前年度に比べ1. 1%上昇しました。	
[上昇]	たばこ	7.7% たばこ
	身の回り用品	3.2% 腕時計、バッグ(輸入ブランド品)など
	他の諸雑費	0.8% 傷害保険料など